

栗田工業株式会社

2016年3月期第1四半期決算説明会

(証券コード:6370)

1. 業績ハイライト

(億円)

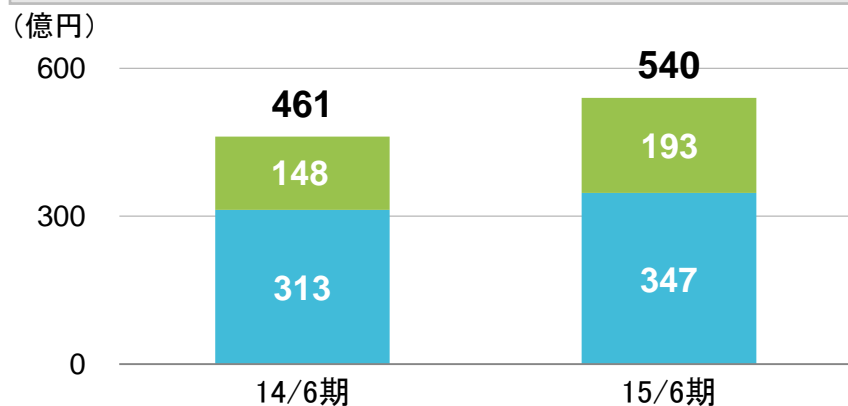
	2014/6期	2015/6期	前年同期比	2015/9計画	前年同期比
受注高	461	540	+ 17.2%	1,112	+ 14.7%
売上高	389	425	+ 9.4%	1,014	+ 14.0%
営業利益	30	36	+ 18.2%	87	+ 0.7%
経常利益	32	40	+ 22.5%	89	- 3.2%
四半期純利益	21	26	+ 23.5%	55	- 6.5%

- 受注高は、水処理装置事業で増加、水処理薬品事業でも買収効果により増加した。
- 売上高は、水処理薬品事業で買収効果などにより増加した。
- 営業利益は、買収影響等により販管費が増加したが、原価率の改善により増益となった。
- 実効税率引き下げに伴い、税金費用が減少した。

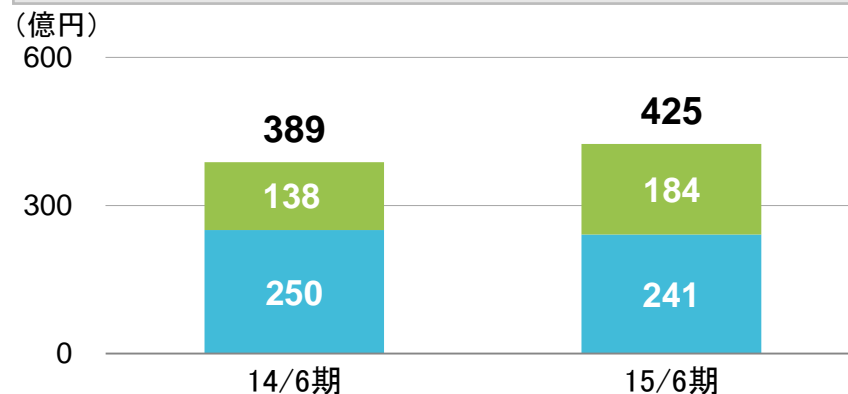
2. 受注高・売上高・営業利益・営業利益率



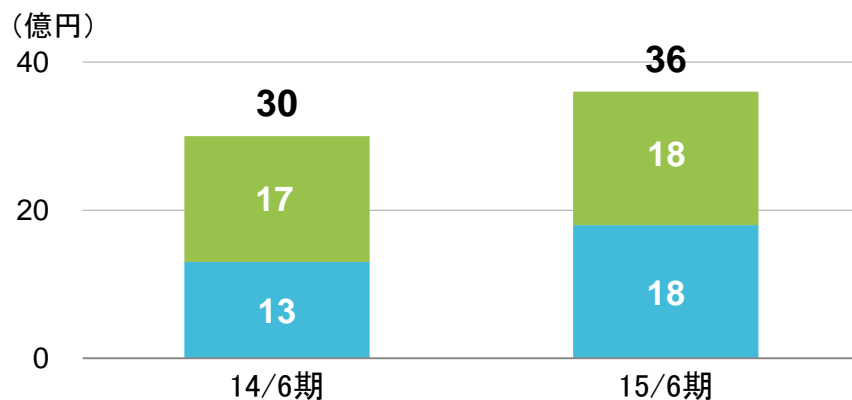
受注高



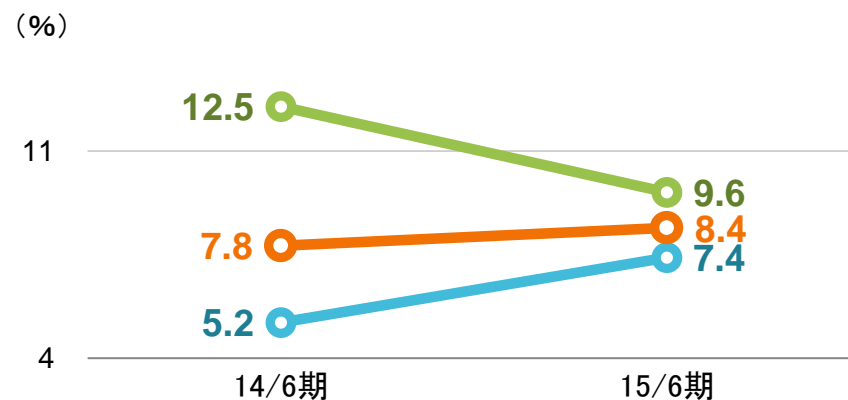
売上高



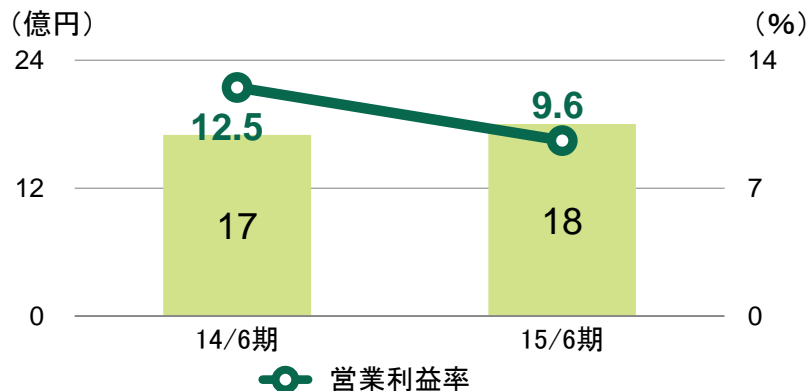
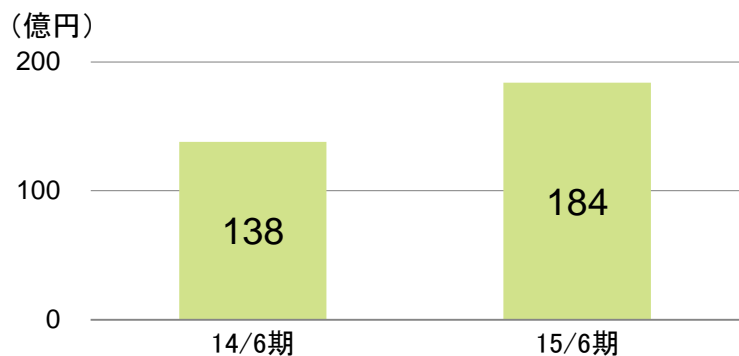
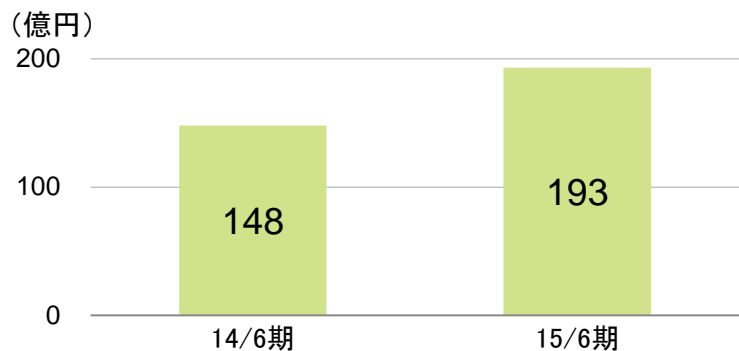
営業利益



営業利益率



3. 水処理薬品事業



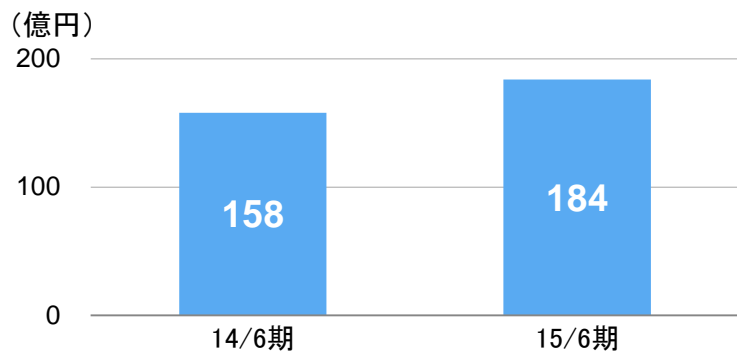
受注高・売上高

- 国内は顧客の工場操業度の緩やかな回復により、微増となった。
- 海外は欧州での買収効果に加え、中国や東南アジアでも順調に拡大した。

営業利益

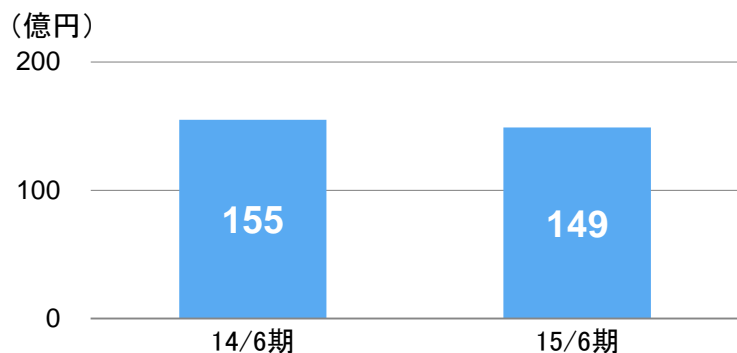
- 販管費は増加したものの増収効果により増益となった。
- のれん・技術関連資産等の償却などの影響により、営業利益率は低下した。

4. 水処理装置事業（電子産業向け）



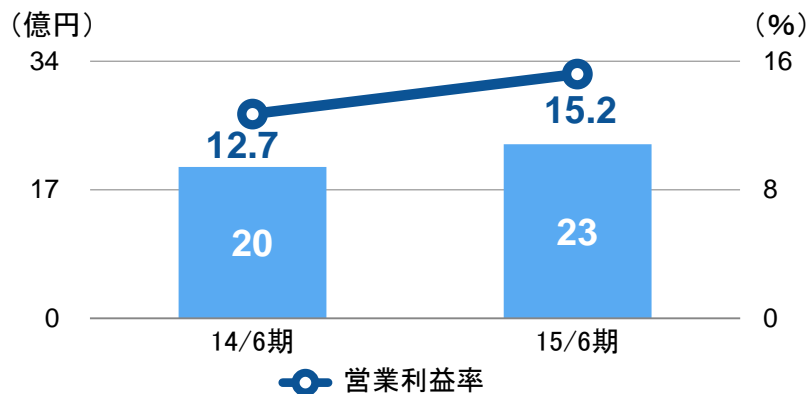
受注高

- 海外ハードは中国や台湾での大型案件獲得により増加した。
- 国内メンテナンスは需要回復により増加した。
- 超純水供給事業は微増となった。



売上高

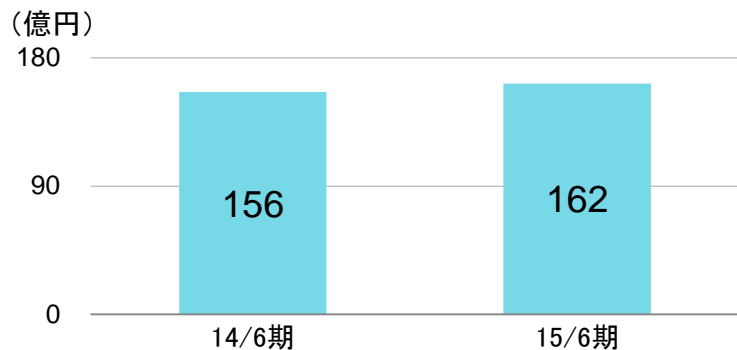
- 精密洗浄が不採算事業撤退により減少した。
- 海外ハードは工事進捗により増加した。
- 国内メンテナンスは需要回復により増加した。
- 超純水供給事業は微増となった。



営業利益

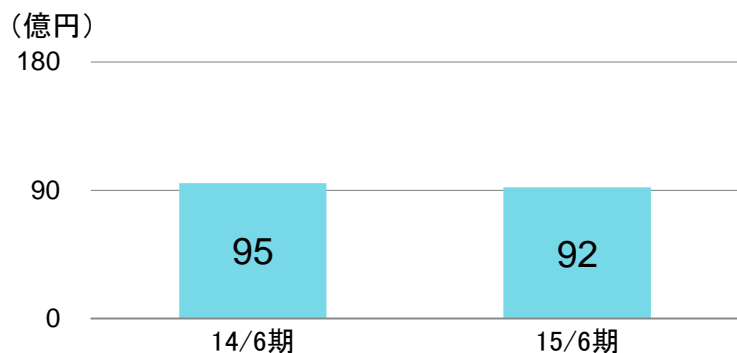
- 販管費は増加したものの原価率の改善により増益となった。

5. 水処理装置事業（一般産業向け）



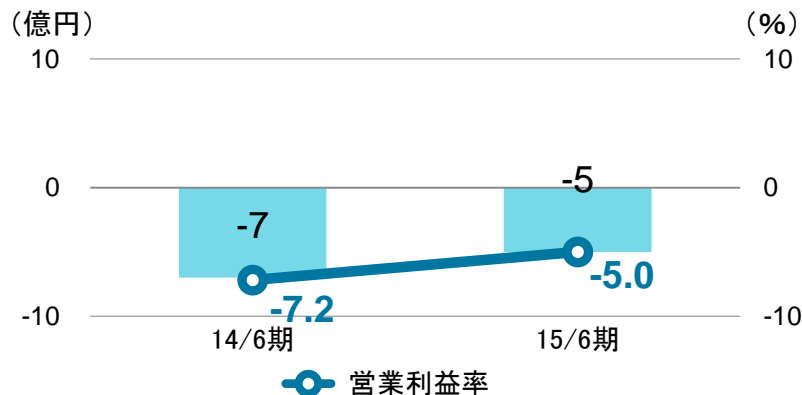
受注高

- 土壌浄化が土地取引などの調査案件を中心に増加した。
- 電力向けハードは期ずれにより減少した。
- 一般産業向けハードは微減となった。



売上高

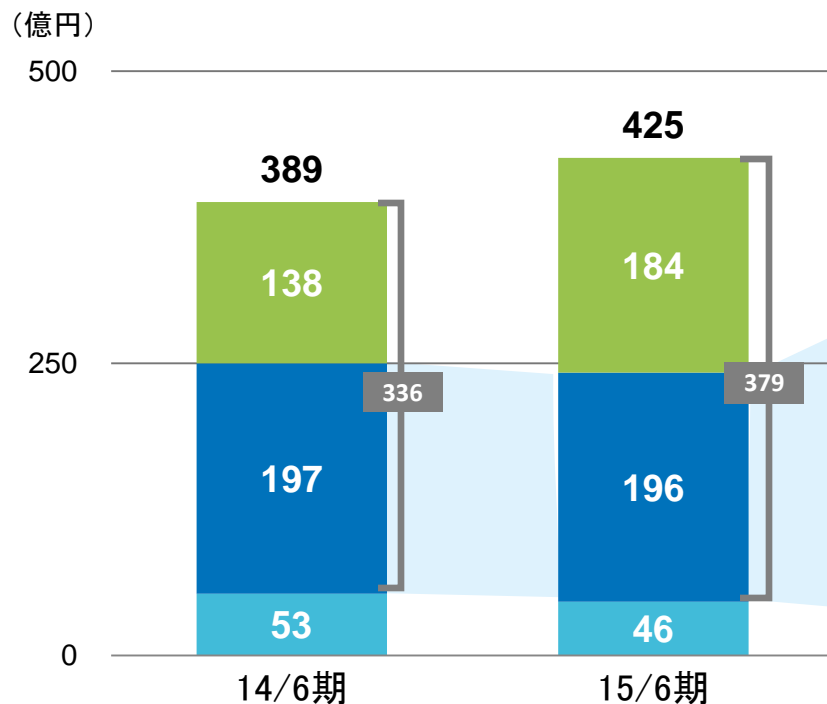
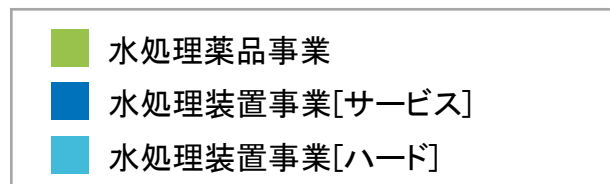
- 一般産業向けハードが工事進捗の遅れにより減少した。
- 電力向けハードは工事の進捗により増加した。



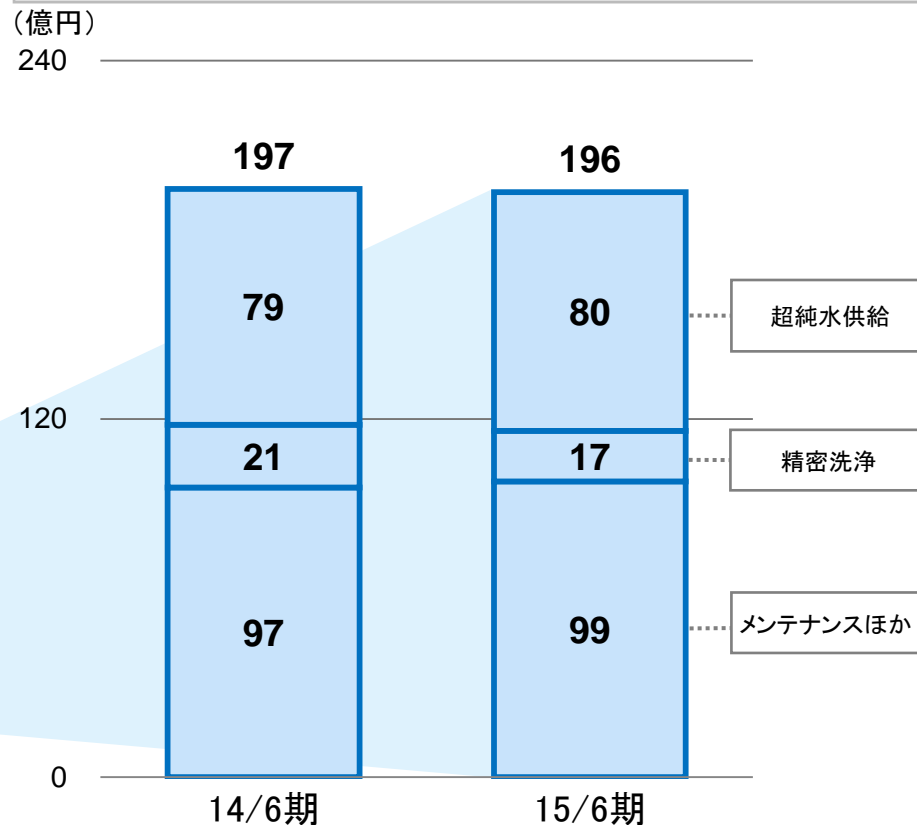
営業利益

- 原価率の改善により赤字が縮小した。

6. サービス事業売上高



装置事業中のサービス事業売上高内訳

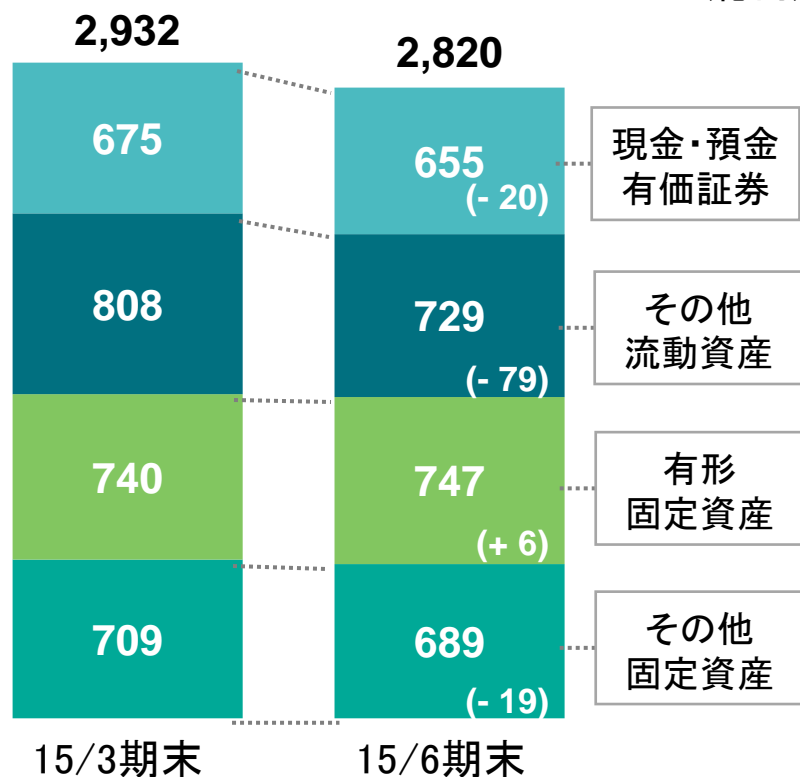


- 精密洗浄は減少したが、水処理薬品およびメンテナンスが増加した。
- サービス事業売上高比率は89.3%。

7. 財政状態

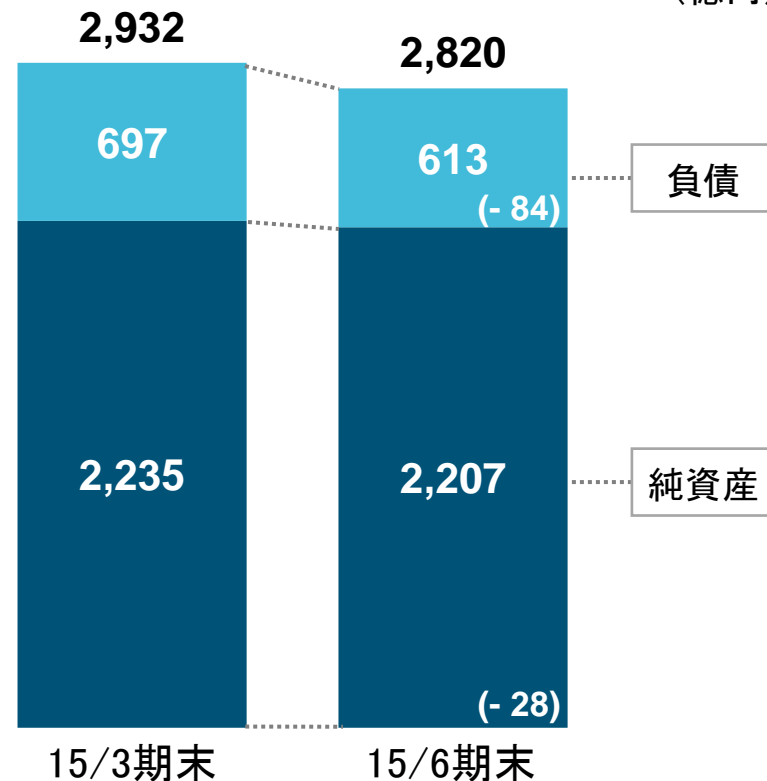
資産

(億円)



負債・純資産

(億円)



- その他流動資産は、売掛金の回収により減少した。
- 手元流動性は、自己株式の取得などにより減少した。
- その他固定資産は、のれんや技術関連資産等の償却や円換算額の減少などにより減少した。